第1回学校訪問にみる各学校における取組

佐伯市立鶴谷中学校

1人1台端末・電子黒板の積極的な活用

18学級481名

取組概要

鶴谷中学校では、「『オーガニックシティさいき』の未来を担う生きる力と優しさに溢れた生徒の育成」を目指し、チームごとに取組状況やアンケート調査等による達成状況の確認等をデータを用いて行い、取組の妥当性の検証及び質の向上に向けた改善方策の検討を行ったり、運営委員会等で共通理解を図ったりする等、組織的な取組を推進している。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆生徒アンケート調査結果について、回答の変容等をグラフにより可視化して生徒の実態把握を行い、授業改善や個に応じた支援につなげている。
- ◆CSチーム会議にて重点的取組に係る家庭・地域の取組指標を設定。 「安心して学びに向かう環境づくり」を視点に協議等の方向性を定め、学校・家庭・地域の連携・協働を進めていこうとしている。

働き方改革の工夫

- ◆第2・4水曜日の会議を廃止し、定時退庁日として設定。弾力的に運用しながら、定時退庁できる仕組みを整えている。
- ◆保護者は欠席連絡をアプリ(TETORU)で行い、確認等に係る時間の 削減につなげている。

話し合う場面の意図的な設定







授業づくりの工夫



ハードル走の様子を録画し フォームを確認



本時までの板書等を蓄積し問題解決に活用する



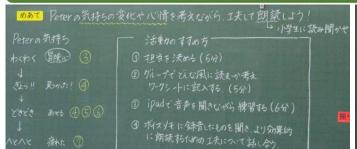
体育祭における印象的な シーンを詩に表す

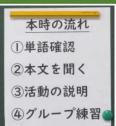






学習の流れや活動の進め方を示して見通しをもたせる工夫





5振り返り

